

“ 農地・水・環境保全 ” 水土里のネットワーク通信

第119号

2018. 12. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

「第三者委員会 現地検討会を開催」

本交付金の取り組みがより良いものとなるよう、外部の有識者の方に取組状況などの点検評価をしていただく第三者委員会（交付金の検討委員会）を毎年度開催しています。今年度は第1回として11月12日（月）に現地意見交換会を開催しました。

時折、小雨の降る日でしたが、午前は大田市の「志学中央保全会」の皆さんに大田市三瓶町の志学まちづくりセンターに、午後は邑南町の「邑南町口羽地区農地・水・環境保全管理協定」の皆さんに邑南町口羽の口羽公民館にお集まりいただき、活動組織の現状や課題、工夫点、今後の展望について意見をいただきました。委員の皆さんからも質問・助言などをいただき、予定時間を超過する熱い会となりました。



会議中に出た意見等の主なものは、次のとおりです。

- 事務が煩雑とは、毎年変わる様式などに対応することも含まれる。事務が分かりやすく、かつ頻繁に制度や様式が変わらないものにしてほしい。
- 事務は地域のことも、この制度のことも、他の制度のことも知っている人でないと務まらないので、早めに後継者を見つけて、育てる必要がある。
- 地域を巻き込んだ活動にする時期に来ている。
- 米以外の作付けも考えており、ソバ、ネギ、シャクヤク、山菜木（タラノメやコシアブラなど）を検討中。
などなど。

島根県では、今回いただいた意見や助言を、皆さんに負けない熱い気持ちで今後の施策推進に役立ててまいります。

当日お時間をいただきました皆様、ありがとうございました。



平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会」に参加して

益田市農林水産課 有田藍子

10月30日(火)に、滋賀県野洲市で開催された「平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会」に参加しました。

研究会では、初めに農林水産省農地資源課多面的機能支払推進室長 長山政道氏 による「多面的機能支払交付金をめぐる情勢」と題した基調講演がありました。

事例発表では、

テーマ1 【生態系の保全】

「栗見出在家（くりみでさいけ）町魚のゆりかご水田協議会の活動取組について」

魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市）

琵琶湖の魚が田へ遡上して産卵・育成できるように排水路に魚道を設置し、環境にやさしい農業を組織全体で徹底。それにより琵琶湖の水産資源や水質の保全等、多岐にわたり良い影響が出ている事例。

「休耕田を活用したビオトープ整備による生態系保全活動事例」

原宿の環境をよくする会（茨城県笠間市）

NPO 法人及び地域内7団体の参画。生態系保全活動や雑草対策など農地のきめ細やかな維持管理を一体的に実施。昆虫観察会等各種イベントを開催するなど、休耕田の活用成功事例。

テーマ2 【多様な団体の参画による活動継続の工夫】

「清し有田佐田沖環境保全会の活動について」

清し有田佐田沖環境保全会（三重県玉城町）

広域組織の運営方法について、組織構成の立て方や透明性のある計画設計、また共同活動サポート隊の設置(土木等の専門技術・資格を有する人材の集団)等、創意工夫することによりまとまりのある活動が可能となった事例。

テーマ3 【事務負担軽減に向けたシステム化の推進】

「活動記録・確認システムの開発と運用」

福井県多面的機能発揮推進協議会・敦賀市広域協定（福井県敦賀市）

事務負担の軽減を目的に作成された「活動記録・確認システム」の紹介。

本研究会では、組織内での細かい事務の流れや意識している点、課題の改善方法とその成果等を事例から学ぶことができ、とても勉強になりました。多面的機能支払交付金だけでは維持が難しい活動もありましたが、活動をきっかけに地域協働の力を上手く高めている組織に触れ、今後も積極的に県内外の組織から様々なことを学び必要な部分を取り入れていきたいと感じました。

事例研究会の基調講演、事例発表の内容については、農林水産省のホームページでも紹介されています。是非ご覧ください。

平成30年度多面支払事例研究会

検索

中国四国農政局による抽出検査

10月10日から11月9日に4市2町、11組織で抽出検査が行われました。

検査では

- 「地域資源の適切な保安全管理のための推進活動」は何をしているか。記録等あるか。
- 「多面的機能の増進を図る活動」は何をしているか。
- 総会の記録、議事録はあるか。
- 総会の結果を構成員に周知しているか。欠席した人にはどう知らせているか。
- 日当単価の取り決めはどうしているか。(内規の確認と毎年の周知方法)
- 通帳、印鑑の管理はどうしているか。(別々に管理しているか)
- 保険は加入しているか。
- 工事発注について。書類確認。
- 更新工事については財産管理台帳、譲渡について確認。
- 領収書、金銭出納簿の確認

等の確認がありました。



頑張っているリーダー受賞 古曾志上組農地保全会（松江市）

しまねの農林水産業・農山漁村「頑張っているリーダー」表彰が行われ、4個人3団体が表彰され、多面的機能支払関係者では、松江市の「古曾志上組農地保全会」が受賞されました。

古曾志上組農地保全会は、水路などの法面に芝桜や松葉ボタンを植栽する取り組みを通して、草刈りの省力化や地域の景観保全、農業者以外の住民の参加による地域の活性化に大きく貢献されています。

また、地域農業が大規模経営体に集約されつつある中、水路、農道、ため池の保全作業を保全会で行い、担い手農家の労力負担を軽減し、地域農業の振興と活性に寄与してもらえます。植栽活動の広がりや農地や農業用施設の維持・保全や農村景観が、今後も良好な状態で後世に引き継がれることを期待しています。受賞の皆さん、おめでとうございます。



前列右が「古曾志上組農地保全会」代表の山根さん

平成30年度多面的機能支払 中国四国シンポジウム in 鳥取県 が開催されます

日時：平成31年1月31日(木) 14:00～

場所：「米子コンベンションセンター BIG SHIP」

詳細につきましては「別紙開催内容」をご覧ください。

参加を希望される活動組織は、12月17日(月)までに協議会宛に申し込んでください。

平成30年度中国四国農政局長表彰を受賞された組織や鳥取県の組織の事例発表もあります。※本シンポジウムは、「事務研修」に該当します。

活動組織の皆さんへ

活動記録・金銭出納簿を一緒に入力してみませんか

12月になりました。年内の活動や支出の整理を私たちと一緒にしませんか？活動されたメモや領収書を見ながら一緒に、活動記録や金銭出納簿を入力していきましょう。（年度途中で一度整理しておく、足りない活動も分かります。）

連絡先 0852-32-4141 深田まで



★12月、1月の予定★

12月10日(月)	補修技術等研修会(松江市)	12月11日(火)	補修技術等研修会(浜田市)
1月31日(木)	平成30年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 星取県(鳥取県米子市)		

ちょっと一息
おたよりコーナー

“比田小学校児童とのシバザクラの植栽

永田集落農地水保全管理活動組織(安来市)

永田集落ではシバザクラの里を目指し、平成26年から毎年シバザクラを畦畔に植栽しています。

今年も昨年に続き比田小学校の5・6年生の子供達と一緒に植栽しました。「地域の人に教わり丁寧に植えました。」

「上手に出来た、面白かった、来年花が咲くのが楽しみ、色の違った苗を間違えないよう植えることが難しかった」などの声が多くの子供達から寄せられました。また当日はテレビ取材もありテキパキとインタビューに答えるなど植栽を楽しんだ一日になりました。



生徒の皆さん植栽活動お疲れ様でした。
私も、来年花が咲くのを楽しみにしています。



～担当者の声～

先日、来年度から多面支払に取り組まれる地元へ制度の説明に伺いました。地元の方から「制度は知っていたけど書類や図面を作るのが難しいと思って。」と話されていました。

活動組織の皆さんの周りでも未だ多面支払に取り組まれていないところがあると思います。是非この制度をご紹介いただいて、「書類や図面は協議会が手伝ってくれるけん」とお話ししていただければと思います。よろしく願います。(協議会 F)

～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会

〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ

Tel 0852-22-6262

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。



薦津環境保全会(松江市)